

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策マニュアルの整備、訓練の実施はもとより、運営推進会議において地域住民の支援の重要性は話し合っているが、まだ十分確実な地域住民との協力体制の構築には至っておらず、緊急災害時に利用者をはじめ、職員、地域住民の安全を確保できる状態ではない。	地域住民(特に近隣)と互いの連携や協力支援を常日頃から意識し、有事の際に確実に行動できるよう、話し合いや訓練の実施をしていき、地域の安心と安全を確保していく。	近隣との新たな自主防災組織的な関係づくりを日頃の会話から意識する。家族会や運営推進会議、ホームの防災・避難訓練にも参加してもらい、互いが気にかけている意識から、実際に行動できる実践力を共につくりあげていく。	24 か月
2	5	市担当者との連携は、運営推進会議への参加で相談しアドバイスをもらっているが、日頃からの連携としてはまだ不十分とのことで、更に連携を図り地域に根付いた事業運営に努める必要がある。	日頃からの気軽な相談や連携により、地域における当ホームの運営状況の把握を深め、広くは市内の他事業所とも連携を取っていき、市内の地域密着型サービス事業所が各地域圏域において地域に根付いた運営につながるよう、また災害時にも互いに連携することができるような関係づくりを共につくっていく。	22年度の集団指導の際に、市より地域密着型サービス事業所連絡会議の発足の打診があり、それに対して他事業所も賛同する声があったので、有意義な会議が継続して開催できるよう、自発的に参加していく。大きな目標として、各事業所がそれぞれの地域圏域で社会貢献でき、事業者間でも連携できる関係を市と共に常々考えながら運営に努める。	24 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。